

## 《課題名》閉塞性大腸癌症例における短期・長期成績と臨床病理学的因子の関連性の検討

《研究対象者》2000年1月～2019年3月までに滋賀医科大学附属病院消化器外科において「閉塞性および非閉塞性大腸癌」と診断された方

### 研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の滋賀医大で既に保有している臨床情報（及び生体試料）を調査する研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報等の使用について、直接に説明して同意はいただかずに、このお知らせをもって公開いたします。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

この研究への参加（試料・情報提供）を希望されない場合、あるいは、研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡ください。

#### （1）研究の概要について

研究課題名：閉塞性大腸癌症例における短期・長期成績と臨床病理学的因子の関連性の検討

研究期間：承認日（2018年3月31日）～2026年3月31日

研究機関・実施責任者：滋賀医科大学 外科学講座 教授 谷 眞至

#### （2）研究の意義、目的について

##### 《研究の意義、目的》

閉塞性大腸癌は、大腸癌に腸閉塞を合併した状態のことです。緊急手術などによる対応を必要とする状態です。通常の大腸癌と比較して、術後合併症の発生が多くなったり、腫瘍学的予後が悪くなったりする可能性があります。様々な外科的治療法がありますが、標準的治療として確立されているものではありません。

本研究では、滋賀医科大学附属病院で閉塞性大腸癌に対する手術を施行された患者さんで、術後経過と様々な臨床病理学的因子を解析し、閉塞性大腸癌の手術後の短期的・長期的成績を検討することを目的としています。

#### （3）研究の方法について

##### 《研究の方法》

当院で2000年1月以降で閉塞性大腸癌の手術を受けた患者さんを対象として、電子カルテより年齢、性別、閉塞部位、大腸癌の進行度、生命予後、術後合併症などの情報を解析します。また、同時期に非閉塞性大腸癌にて手術を受けた患者さんの同様のデータと比較検討します。病理学的因子に関しては、手術の際に切除した病理標本を使用させていただきます。

#### （4）個人情報の取扱いについて

研究にあたっては、個人を容易に同定できる情報は削除したり関わりのない記述等に置き換えたりして使用します。また、研究を学会や論文などで発表する時にも、個人を特定できないようにして公表します。

#### （5）研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

#### （6）研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲

内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。

#### **(7) 利用又は提供の停止**

研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用（又は他の研究への提供を）停止することができます。停止を求められる場合には、(2024年5月31日までに) 下記(8)にご連絡ください。

#### **(8) 問い合わせ等の連絡先**

実施責任者 : 滋賀医科大学 外科学講座 消化器・乳腺・一般外科 教授 谷 真至  
問い合わせ先 : 滋賀医科大学 外科学講座 消化器・乳腺・一般外科 准教授 清水智治  
住所 : 520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町  
電話番号 : 077-548-2238  
メールアドレス : hqsurge1@bell.e.shiga-med.ac.jp